

# 2020年度

## 公益社団法人 学校教育開発研究所（AISES） 教員免許状更新講習募集要項

教育相談・生徒指導・特別支援のことならAISESへ！  
教員免許状更新のための必修・選択必修・選択領域の講座を開講



申込受付開始

対面式講習  
[先着順]

2020年

3月1日(日) 13:00—

※一部の会場の対面式講習及びeラーニング式講習は  
4月1日(水)からの申し込みとなります。

## 教員免許状更新講習のご案内

平成21年4月から開始された教員免許更新制は、平成21年3月31日までに授与された教員免許状を持っている先生方は、各自の修了確認期限までに30時間以上の免許状更新講習の課程を修了し、必要な手続きを行うことが必要となります。

本法人では、この制度の趣旨を踏まえ、「教員免許状更新講習」を実施します。

2020年度は、札幌・東京・神戸・大阪・名古屋・広島・沖縄の7会場において、明日から使える生徒指導・教育相談に特化した対面式の教員免許更新講習を開講いたします。

またお忙しい先生方のために、ご自宅等でも受講可能なeラーニング式講習も同時開講いたします。

ぜひ公益社団法人 学校教育開発研究所(AISES)で教員免許状更新講習を受講いただき、新たな知識・技能等多くのものを得ていただければ幸いです。

多数の皆さまの受講をお待ちしております。

## 学校教育開発研究所 (AISES)について

### 「子どもと学校への支援、教育に携わる人材育成を行い、 我が国をはじめ世界各国の教育の向上に寄与する」

これが本法人の「設立の目的」です。

そのために、私たちは「支援者の支援」に取り組みます。

具体的には、先生、保護者、カウンセラー、支援員など、子どもの教育や支援に関わって奮闘されている方々に、私たちの学習指導・生徒指導・カウンセリング・マネジメント等のノウハウを提供します。

そのことを通じて、先生方には、教師としてのやりがい、誇り、喜び、確信を高め、生き生きとした教員ライフの支援を提供します。支援者の方々にも同様です。

「指導についての確信が持てない」「研修会に参加してよりよい指導方法を身につけたい」という思いの方も多いでしょう。しかし、研修会と言っても平日の参加は困難ですし、休日も部活動や成績処理などがあります。地方では希望する研修自体がほとんどないという地域もあるでしょう。

こうしたジレンマを解決するために、AISESは、eラーニングやホームページ、オンラインでのコンサルテーションサービス、直接研修などを通じて、学校教育現場のさまざまな課題に対応するための理論・実践例・教材・教具などを提供します。

私たち特徴は大きく3つあります。

①私たちの方法は実際の学校で大きな効果を上げてきた効果は実証済の方法です。

②スタッフが現職経験をもつ大学教員と、学校での豊富な指導実績を持つ大学教員で構成されています。

それは私たちの提供するノウハウが理論と実践を統合したものであることを意味します。

③提供される研修内容は子どもの支援に関わるほぼ全領域をカバーしています。

どのような立場の方でも必ず得るものがあることを意味しますし、すべてを学んだときには、これまでとは違う視座で子どもや教育を捉えることが可能になります。

**このノウハウを身につければ、先生の授業も、生徒指導も、学級経営も、  
そして教師としての自分の生き方も変わるとお約束します。**

- 一流の講師による最先端の理論や実践がいつでも聞き放題。
- 明日から使える実践記録や指導案が入手可能。
- 仕事の効率をあげ、授業や教室経営を豊かにするツールが入手可能。
- 世界のすぐれた教育実践を解説付きの映像で紹介。

# CONTENTS

|                                                                                                                                             |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 教員免許状更新講習手続きの流れ .....                                                                                                                       | 4  |
| 教員免許状の有効期間確認ツールについて<br>～更新時期確認の御参考に～ .....                                                                                                  | 5  |
| 講習一覧 .....                                                                                                                                  | 6  |
| ■東京会場 ■札幌会場 ■神戸会場 ■大阪会場 ■名古屋会場<br><br>■広島会場（現在申請中） ■沖縄会場（現在申請中）<br>※ホームページでお知らせいたします。<br><br>■e-ラーニング式講習・試験会場・日程・講座概要<br>※ホームページでお知らせいたします。 |    |
| 講師紹介 .....                                                                                                                                  | 17 |
| 受講について .....                                                                                                                                | 18 |
| Q & A .....                                                                                                                                 | 20 |

※2020年3月1日時点での情報です。

情報が変更次第、ホームページで掲載します。

常に最新の情報をホームページにてご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

## 【重要】新型コロナウイルス問題に伴う教員免許状更新講習の開講について

新型コロナウイルス感染症については、指定感染症として閣議決定されたほか、既に連日の報道のとおり、国内においても感染が広まりつつあります。

2020年3月以降に開講する教員免許状更新講習については、国等からの中止要請が届いていないこと、また更新講習制度の性質上、受講の有無が皆様の職務生活に大きく影響することから、現時点では「通常通りに開講」とすることを予定しております。

なお今後社会情勢の変化、および公官庁の指示により、ご案内内容が変更となる場合がございますので、定期的に学校教育開発研究所ホームページをご確認ください。

その他、受講生の皆様へ

受講会場や修了試験会場に、ご来場の際には手洗い・うがいの徹底など、感染防止へのご協力をお願い申し上げます。

# 教員免許状更新講習手続きの流れ

※受講の諸手続きには、インターネットを利用します。学校教育開発研究所HPをご確認ください。  
※本法人からのお知らせ等にはメールで配信しますので、メールアドレスが必要になります。  
以下のメールアドレスから受信できるように設定をお願いいたします。

|         |                                                                                                                                                                                            |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メールアドレス | admin@aises.info<br><b>※yahooやGmailなどパソコンのメールアドレス推奨</b><br>※Hotmail、au、docomo、Softbank、学校や職場専用のアドレス(@〇〇.ac.jp)など<br>これらのアドレスでよく迷惑メール設定による受信トラブルが発生しています。<br>必ず申し込みをされる前に、迷惑メール設定を確認してください。 |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 受講者

### 1. 公益社団法人 学校教育開発研究所(AISES) 教員免許状更新講習ホームページにアクセスし、 メールアドレスを登録

学校教育開発研究所(AISES)の教員免許状更新講習専用  
サイトから環境チェックとメールアドレスを入力してくださ  
い。

※事前に受講の流れや注意事項を必ず読んでおいてください。  
不利益が生じても、本法人は責任を負いかねます。

### 3. インターネット受付

メールに記載してあるURLよりアクセスしていただき、  
基本情報、希望する講座、事前アンケートを登録してくださ  
い。

### 5. 受講申込書の提出

①AISESのホームページより、受講申込書等の原本(PDF)  
を印刷し、顔写真の添付、必要事項の記入、本人印及び証明  
者印押印のうえ、教員免許状のコピーとともに郵送してくだ  
さい。  
※申込書は申し込み日より3週間以内に提出してください。  
※事前に連絡もなく、提出期限を過ぎると予約が取消され  
ます。

### 8. 受講料振込

支払期限までに必ず振込票を使って、**銀行もしくはコンビニ  
エンスストア**でお支払いください(**※ネットバンキングは使  
わないでください**)。

### 10. 受講

受講にあたっては、事前にホームページで講習会場や持参  
品等を確認してください。

※受講日(eラーニング式の場合は修了認定試験日)の2週間前に受講者掲示板  
に詳細など掲載いたします。各自で確認してください。  
※社会情勢の変化、および公官庁の指示により、ご案内内容が変更となる場合  
がございますので、定期的にホームページをご確認ください。

### 12. 教員免許状の更新手続き(教育委員会)

30時間分の履修(終了)証明を受けた方は、免許管理者(各  
都道府県教育委員会)へ更新手続きを行ってください。

なお、詳細については、免許管理者にお問い合わせくださ  
い。

※履修(修了)証明書は、コピーをとっておくことをお勧めし  
ます。』

## AISES

### 2. 管理システムからお知らせ

※メールアドレス登録後、すぐに登録されたメールアドレス  
に管理システムから自動返信されます。

### 4. 管理システムからお知らせ

※インターネット登録後、すぐに登録されたメールアドレス  
に管理システムから自動返信されます。  
※登録情報に間違いや変更がある場合は、教員免許状更新  
講習専用サイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

### 6. 受講申込書受理をメール配信

受講申込書をチェック後、受理した旨をメール配信します。

### 7. 受講料振込票を郵送

受講料振込票を郵送します。必ず振込票を使って、ご入金ください。  
※受講申込書を受理してから振込票を発送するまでに、1週間程度お時間をい  
ただいております。

### 9. 受講料受理をメール配信

eラーニング式講習の場合のみ、受講に必要な講習生番号  
(ID)とパスワードをお知らせいたします。受講期間になり  
ましたら、すぐにログインできるかどうかご確認ください。  
※対面式講習の場合、振込時の領収書が受講確認となりま  
す。  
※必ず受領書は大切に保管してください。

### 11. 履修(修了)証明書を郵送

履修(修了)証明書を郵送します。  
郵送を早めることはできません。  
勤務校での書類提出期限等を  
あらかじめご確認の上お申込みください。

※括弧内にある日を過ぎても、修了証明書  
が届かない場合には事務局までご連絡  
ください。

| 開講期    | 郵送時期             |
|--------|------------------|
| 4～8月期  | 9月頃<br>(～10/15)  |
| 9～12月期 | 12月末頃<br>(～1/15) |
| 2～3月期  | 3月末頃<br>(～4/15)  |

## ■[教員免許状の有効期間確認ツール](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/013/1420173.htm)

< [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/013/1420173.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/013/1420173.htm) >

本ツールは、入力画面に自身の教員免許状の情報等を入力することにより、出力画面にて自身の教員免許状の有効期間（又は自身の修了確認期限）を確認いただけるものです。

【次のような方は本ツールを御参考にしてください。】

- ・教員免許更新が必要かどうか不明な方
- ・教員免許を取得された後、長期間使われていない方
- ・自身の教員免許が失効していないか確認したい方

なお本ツールは、利用者本人が教員免許状の期限等を確認するためのものであり、証明等の効力を有するものではありませんので御注意ください。

< 教員免許状の有効期限確認ツールに関するお問い合わせ >  
文部科学省 総合教育政策局教育人材政策課まで

**※学校教育開発研究所に問い合わせいただいても、回答できかねます。**



## 対面式講習(予定)一覧&lt;2020年&gt;

【東京会場】 定員:各講習200名 会場:国立オリンピック記念青少年総合センター

| No. | 領域            | 月/日           | テーマ                                                                       | 申込期間  |
|-----|---------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1   | 選択必修<br>または選択 | 8月17日<br>(月)  | 子どもを取り巻くネットいじめ・SNS問題の現状と対応策                                               | 3/1～  |
| 2   | 選択必修<br>または選択 | 8月18日<br>(火)  | 子どもや保護者との信頼関係の築き方                                                         | 3/1～  |
| 3   | 選択必修<br>または選択 | 8月19日<br>(水)  | 子どもの豊かな感情と社会性を育む社会性と情動の学習                                                 | 3/1～  |
| 4   | 選択必修<br>または選択 | 8月20日<br>(木)  | 集団づくりと学級経営<br>-支持的風土を自分たちでつくれる子どもを育てる(PBIS)                               | 3/1～  |
| 5   | 選択必修<br>または選択 | 8月21日<br>(金)  | 子どもの解決力を育む-学級内のトラブル・対立解決法                                                 | 3/1～  |
| 6   | 必修            | 8月22日<br>(土)  | 教育の最新事情-これからの時代を生き抜く子どもを育てる                                               | 3/1～  |
| 7   | 選択必修<br>または選択 | 8月23日<br>(日)  | 授業づくりをデザインする<br>-自ら学びに向かう子どもを育てるUDL                                       | 3/1～  |
| 8   | 選択必修<br>または選択 | 10月10日<br>(土) | ピア・サポートによる学級づくり、友だちづくり                                                    | 8/1～  |
| 9   | 選択必修<br>または選択 | 10月11日<br>(日) | 子ども理解と効果的な指導法を学ぶ<br>-先生のための心理学講座-                                         | 8/1～  |
| 10  | 選択必修<br>または選択 | 11月28日<br>(土) | 一人一人を伸ばす学級経営                                                              | 8/1～  |
| 11  | 選択必修<br>または選択 | 11月29日<br>(日) | 集団づくりと学級経営<br>-支持的風土を自分たちでつくれる子どもを育てる(PBIS)<br>※会場:クラーク記念国際高等学校 さいたまキャンパス | 8/1～  |
| 12  | 選択必修<br>または選択 | 12月19日<br>(土) | 主体的・対話的な深い学びを促進する授業<br>-協同学習の理論と方法<br>※定員80名                              | 8/1～  |
| 13  | 選択必修<br>または選択 | 12月20日<br>(日) | 通常の学級における特別支援教育<br>※定員80名                                                 | 8/1～  |
| 14  | 選択必修<br>または選択 | 2月20日<br>(土)  | 子どもの豊かな感情と社会性を育む社会性と情動の学習                                                 | 12/1～ |
| 15  | 選択必修<br>または選択 | 2月21日<br>(日)  | 子どもの解決力を育む<br>-子ども同士のトラブル・対立解決アプローチ                                       | 12/1～ |
| 16  | 選択必修<br>または選択 | 3月6日<br>(土)   | 子どもや保護者との信頼関係の築き方                                                         | 12/1～ |
| 17  | 選択必修<br>または選択 | 3月7日<br>(日)   | 教育の最新事情<br>これからの時代を生き抜く子どもを育てる                                            | 12/1～ |

【札幌会場】 定員:各講習90名 道民活動振興センターかでの27(札幌市)

| No. | 領域            | 月/日          | テーマ                                | 申込期間 |
|-----|---------------|--------------|------------------------------------|------|
| 18  | 選択必修<br>または選択 | 7月31日<br>(金) | 主体的・対話的な深い学びを促進する授業<br>-協同学習の理論と方法 | 3/1～ |
| 19  | 選択必修<br>または選択 | 8月1日(土)      | 子どもや保護者との信頼関係の築き方                  | 3/1～ |
| 20  | 必修            | 8月2日(日)      | 教育の最新事情<br>-これからの時代を生き抜く子どもを育てる    | 3/1～ |
| 21  | 選択必修<br>または選択 | 8月4日(火)      | 子どもの豊かな感情と社会性を育む<br>社会性と情動の学習      | 3/1～ |
| 22  | 選択必修<br>または選択 | 8月5日(水)      | ネットいじめ・SNS問題の現状と対応策                | 3/1～ |

【神戸会場】 定員:各講習90名 会場:三宮コンベンションセンター(神戸市)

| No. | 領域                | 月/日            | テーマ                                              | 申込期間  |
|-----|-------------------|----------------|--------------------------------------------------|-------|
| 23  | 必修                | 6月6日(土)        | 教育の最新事情-これからの時代を生き抜く子どもを育てる                      | 3/1～  |
| 24  | 選択必修<br>または選択     | 6月7日(日)        | ネットいじめ・SNS問題の現状と対応策                              | 3/1～  |
| 25  | 選択必修<br>または選択     | 7月23日<br>(木祝)  | 子どもの豊かな感情と社会性を育む社会性と情動の学習                        | 3/1～  |
| 26  | 選択必修<br>または選択     | 7月24日<br>(金祝)  | 主体的・対話的な深い学びを促進する授業<br>-協同学習の理論と方法<br>※会場:兵庫県民会館 | 3/1～  |
| 27  | 選択必修<br>または選択     | 9月26日<br>(土)   | いじめ・不登校・困難事例の理解と対応<br>-効果的なチーム支援の実際-             | 8/1～  |
| 28  | 必修                | 9月27日<br>(日)   | 教育の最新事情-これからの時代を生き抜く子どもを育てる                      | 8/1～  |
| 29  | 選択必修<br>または選択     | 10月24日<br>(土)  | これだけは押さえない！学級経営と集団づくりの技                          | 8/1～  |
| 30  | 選択必修<br>または<br>選択 | 10月25日<br>(日)  | ピア・サポートによる学級づくり、友だちづくり                           | 8/1～  |
| 31  | 選択必修<br>または選択     | 11月22日<br>(日)  | 子どもの解決力を育む<br>-子ども同士のトラブル・対立解決アプローチ              | 8/1～  |
| 32  | 選択必修<br>または選択     | 11月23日<br>(月祝) | ネットいじめ・SNS問題の現状と対応策                              | 8/1～  |
| 33  | 選択必修<br>または選択     | 12月12日<br>(土)  | 主体的・対話的な深い学びを促進する授業<br>-協同学習の理論と方法<br>※会場:兵庫県民会館 | 8/1～  |
| 34  | 選択必修<br>または選択     | 12月13日<br>(日)  | 明日からすぐ使えるいじめ、不登校予防と<br>具体的な対応方法                  | 8/1～  |
| 35  | 選択必修<br>または選択     | 2月13日(土)       | 子どもや保護者との信頼関係の築き方                                | 12/1～ |
| 36  | 選択必修<br>または選択     | 2月14日(日)       | 子どもの豊かな感情と社会性を育む社会性と情動の学習                        | 12/1～ |
| 37  | 選択必修<br>または選択     | 3月13日(土)       | 集団づくりと学級経営<br>-支持的風土を自分たちでつくれる子どもを育てる(PBIS)      | 12/1～ |
| 38  | 必修                | 3月14日(日)       | 教育の最新事情-これからの時代を生き抜く子どもを育てる                      | 12/1～ |

【大阪会場】 定員:各講習150名 会場:マイドーム大阪

| No. | 領域            | 月/日           | テーマ                               | 申込<br>期間 |
|-----|---------------|---------------|-----------------------------------|----------|
| 39  | 必修            | 7月23日<br>(木祝) | 教育の最新事情-これからの時代を生き抜く子どもを育てる       | 3/1～     |
| 40  | 選択必修<br>または選択 | 7月24日<br>(金祝) | 子ども理解と効果的な指導法を学ぶ<br>-先生のための心理学講座- | 3/1～     |
| 41  | 選択必修<br>または選択 | 7月25日<br>(土)  | 生き抜く力を育てる幼児期から青年期までのキャリア教育        | 3/1～     |
| 42  | 選択必修<br>または選択 | 7月27日<br>(月)  | 子どもの豊かな感情と社会性を育む社会性と情動の学習         | 3/1～     |
| 43  | 選択必修<br>または選択 | 8月21日<br>(金)  | 子どもの発達理解と教育相談                     | 3/1～     |
| 44  | 選択必修<br>または選択 | 8月22日<br>(土)  | 愛着に課題を抱える子どもの理解と支援                | 3/1～     |

【名古屋会場】定員:各講習150名 会場:名古屋アクションラボ

| No. | 領域            | 月/日           | テーマ                                      | 申込<br>期間 |
|-----|---------------|---------------|------------------------------------------|----------|
| 45  | 選択必修また<br>は選択 | 8月7日(金)       | すぐに使える学級づくりのテクニック<br>ー社会心理学を活かした学級経営のコツー | 3/1～     |
| 46  | 選択必修また<br>は選択 | 8月8日(土)       | 生き抜く力を育てる幼児期から青年期までのキャリア教育               | 3/1～     |
| 47  | 必修            | 8月9日(日)       | 教育の最新事情<br>-これからの時代を生き抜く子どもを育てる          | 3/1～     |
| 48  | 選択必修また<br>は選択 | 8月10日<br>(月祝) | 子どもや保護者との信頼関係の築き方                        | 3/1～     |
| 49  | 選択必修また<br>は選択 | 8月28日<br>(金)  | 子どもの解決力を育む<br>-子ども同士のトラブル・対立解決アプローチ      | 3/1～     |



## 【広島会場(対面式)】

※現在申請中のため、決まり次第ホームページでお知らせします。

## 【沖縄会場(対面式)】

※現在申請中のため、決まり次第ホームページでお知らせします。

### ■1講習6時間です(1講習：6,500円)

■小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・幼稚園・認定こども園など、すべての先生方が受講の対象です。

■「必修」を「選択必修」「選択」、「選択必修及び選択」を「必修」に変えることはできません。

■原則、**各講習日の2週間前**には受講申込の締め切りとさせていただきます。

■定員に達し次第、申込期間より早く締め切ることがございます。ご了承ください。

■締め切った場合、ホームページにてお知らせいたします。

■AISESのeラーニング式講習と組み合わせて、受講していただくことが可能です。

■「**選択必修または選択**」の講習に関しては、申し込み時にどちらかお選びいただく必要があります。

※修了(履修)証明書発行後、受講申込み間違いや**自己都合による内容変更に関しては再発行事務手数料(1,000円)**が発生します。ご了承ください。(「選択領域」を「選択必修領域」に変更するなど)

※**申込者が少数の場合は開催を中止することがございます。**

| 領域                | 講習の名称                                         | 参照<br>ページ |
|-------------------|-----------------------------------------------|-----------|
| 必修                | 教育の最新事情                                       | P12       |
| 選択必修<br>または<br>選択 | 幼児教育に携わる先生のために一人一人を大切にする保育の推進<br>～幼児期の特別支援教育～ | P12       |
|                   | 幼児教育等に携わる先生のための保護者と園との「共育」を目指す<br>子育ての支援      | P13       |
|                   | 子どもを育てるPBISー開発的積極的生徒指導の実際ー                    | P13       |
|                   | コミュニケーション力を育てる感情の学習ー社会性と情動の学習(SEL)の実際ー        | P13       |
|                   | キャリア教育の視点を生かした主体的・対話的に深く学び合う子どもの育成            | P14       |
|                   | やってみよう！ピアサポート<トレーニング編>                        | P14       |
|                   | 学級経営と保護者対応                                    | P14       |
|                   | すべての子どもが学べる教室にー子どものアセスメントとUDLー                | P15       |
|                   | 様々な課題解決のための組織的対応のあり方                          | P15       |
|                   | 今求められる幼児教育と小学校教育の接続                           | P15       |
|                   | 養護教諭が行うアセスメント                                 | P16       |
|                   | 学びのユニバーサルデザイン                                 | P16       |
|                   | ネットいじめ・SNS問題の現状と対応策                           | P16       |

■1講習6時間です(1講習：6,000円)。

■全ての手続きが完了してから、受講が可能となります。

日程に関しては、次のページをご確認ください。

■AISESの対面式講習と組み合わせて受講していただくことは可能です。

■「選択必修または選択」の講習に関しては、申し込み時にどちらかお選びいただく必要があります。

※修了(履修)証明書発行後、受講申込み間違いや自己都合による内容変更に関しては再発行事務手数料(1,000円)が発生します。ご了承ください。(「選択領域」を「選択必修領域」に変更するなど)

※申込者が少数の場合は開催を中止することがございます。

## WEB受付申込期間

**2020年4月1日(水)13:00～6月30日(火)17:00(2020年4～8月期)**

※入金手続きが完了するまで受講できませんので、お早めにお申込ください。

※2020年9～12月期、2021年1～3月期は申込期間が異なります。

## e-ラーニング式講習 受講期間

**2020年5月1日(金)13:00～**

**修了認定試験の2週間(14日前)17:00まで**

※会場ごとに受講期間が異なります。

- 修了認定試験日の14日前になりましたら、事務局にて受講確認を行います。  
その際に、動画視聴と受講確認が完了していない場合は受験資格がありません。
- お申込みいただいた全ての講習を受講完了すると、修了認定試験に必要な「**受験票**」が印刷可能となります。各自で受験票を印刷して試験会場までお持ちください。
- e-ラーニング式講習の受講で不正があったと事務局で判断した場合、例え受験票が発行できる状態であっても、受験できません。  
(事務局で設定している視聴時間よりも短い、受講確認が正しく行われていないなど)

## 修了認定試験について

**現在、下記の場所にて修了認定試験を実施する予定です。**

**札幌・東京・名古屋・大阪・神戸・広島・沖縄**

**※6～8月頃に実施予定です。申込開始の際にお知らせいたします。**

- 2020年3月1日時点での予定**です。受講者の人数等で会場など変更になる場合がございます。変更などがあった場合、ホームページでお知らせいたします。  
定期的にホームページをご確認ください。

## e-ラーニング式講習

**受講料 eラーニング式：6,000円**

※1講習当たりの価格です。

|                                                                                                                                                                                                |   |         |             |           |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------|-------------|-----------|-----|
| 必修                                                                                                                                                                                             |   | 教育の最新事情 |             | 全会場<br>共通 |     |
| 時                                                                                                                                                                                              | 間 | 数       | 担           | 当         | 講 師 |
| 6時間                                                                                                                                                                                            |   |         | 栗原 慎二・金山 健一 |           |     |
| <b>【概要】</b><br>学校状況に即した教育学や教育心理学の最新知見を紹介し、今日求められている教育課題解決への方策を実践例を示しつつ具体的に解説します。包括的生徒指導として、子どもの意欲を育てるコミュニケーションスキルや特別支援教育等について取り上げ、教育現場において直面する諸問題に対処していくための理論的知識と具体的な手法を学び、実践力向上を目指した内容を提供します。 |   |         |             |           |     |

|                                                                                                                                                                                           |   |                                                   |   |           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------|---|-----------|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                         |   | 幼児教育に携わる先生のために<br>一人一人を大切にする保育の推進<br>～幼児期の特別支援教育～ |   | 全会場<br>共通 |
| 時 間                                                                                                                                                                                       | 数 | 担                                                 | 当 | 講 師       |
| 6時間                                                                                                                                                                                       |   | 佐藤 博子 ・ 栗原 慎二                                     |   |           |
| 【概要】<br>幼児期は個人差がとても大きい時期です。また子どもを取り巻く環境や社会の変化に伴い、幼児教育現場では気になる子ども、苦戦している子どもが増えています。子どもたち一人一人の発達に寄り添いながら、多様な視点から幼児を理解し、成長を育む保育やチーム支援の在り方について学びます。幼稚園、小学校両方の現場経験豊富な講師が演習を交えながらわかりやすく講義を進めます。 |   |                                                   |   |           |

|                                                                                                                                                                  |  |  |                                              |  |  |           |  |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|----------------------------------------------|--|--|-----------|--|--|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                |  |  | 幼児教育等に携わる先生のための<br>保護者と園との「共育」を目指す<br>子育ての支援 |  |  | 全会場<br>共通 |  |  |
| 時 間 数                                                                                                                                                            |  |  | 担 当                                          |  |  | 講 師       |  |  |
| 6時間                                                                                                                                                              |  |  | 佐藤 博子 ・ 栗原 慎二                                |  |  |           |  |  |
| 【概要】<br>子どもたちの健やかな成長のためには、園と保護者が連携して共に子育てに向かう姿勢が大切です。しかし、社会の状況や様々な家庭環境を背景に孤立した子育てが行われ、保護者が育児不安を抱える現状が見られます。保護者・保育者・関係機関がつながりながら進める子育て支援の実現と園の役割について、受講者とともに考えます。 |  |  |                                              |  |  |           |  |  |

|                                                                                                                                                                                                                   |  |                          |                                |     |  |           |  |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------|--------------------------------|-----|--|-----------|--|--|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                                                 |  |                          | 子どもを育てるPBIS<br>ー開発的積極的生徒指導の実際ー |     |  | 全会場<br>共通 |  |  |
| 時 間 数                                                                                                                                                                                                             |  | 担 当                      |                                | 講 師 |  |           |  |  |
| 6時間                                                                                                                                                                                                               |  | 栗原 慎二・高橋 あつ子・金山 健一・神山 貴弥 |                                |     |  |           |  |  |
| 【概要】<br>P B I S（望ましい行動への介入とサポート）は、学校や学年、あるいは学級で比較的容易に実践できる積極的な生徒指導の手法です。望ましい行動を増やし、規範意識を育てることにつながる手法で、高い教育効果が実証されています。これを日本の学校教育に合わせて効果的に導入し、日常の教育活動に活かすにはどのようにしたらいいのかを具体的に解説します。日本の実践例も紹介し、導入をイメージしやすいよう構成しています。 |  |                          |                                |     |  |           |  |  |

|                                                                                                                                                                                                                  |   |                                            |                    |           |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------|--------------------|-----------|-----|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                                                |   | コミュニケーション力を育てる感情の学習<br>ー社会性と情動の学習（SEL）の実際ー |                    | 全会場<br>共通 |     |
| 時                                                                                                                                                                                                                | 間 | 数                                          | 担                  | 当         | 講 師 |
| 6時間                                                                                                                                                                                                              |   |                                            | 栗原 慎二・高橋 あつ子・山田 洋平 |           |     |
| 【概要】<br>近年、子どものコミュニケーション力の低下が叫ばれています。学校でも、様々な取組がなされていますが、成果を実感できないという悩みをよく耳にします。本講座では、そんな先生方のために、世界で広くその成果が実証されている『社会性と情動の学習（SEL）』をご紹介します。講師は、全国各地の学校で講演し高い評価と実績を誇る講師陣です。明日からすぐに使えるミニ演習や楽しみながら感情について学べる実践も紹介します。 |   |                                            |                    |           |     |



|                                                                                                                                                                                                           |   |                                            |               |           |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------|---------------|-----------|-----|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                                         |   | キャリア教育の視点を生かした<br>主体的・対話的に深く学び合う<br>子どもの育成 |               | 全会場<br>共通 |     |
| 時                                                                                                                                                                                                         | 間 | 数                                          | 担             | 当         | 講 師 |
| 6時間                                                                                                                                                                                                       |   |                                            | 鈴木 建生 ・ 栗原 慎二 |           |     |
| 【概要】<br>対話的な学びを支える「傾聴・質問・承認」の対話スキル(コーチング)を基盤に、①授業における対話とは何か。②なぜ、「主体的・対話的で深い学び」が必要なのか。③グローバルな視点から見た教育の価値観と目的。④授業改善の中核である協同学習の原理と技法。⑤授業改善の導入方法と校内体制作りのポイント。これらを学び合いながら、キャリア教育の目標である「生きる力」を育む視点と技法の獲得を目指します。 |   |                                            |               |           |     |

|                                                                                                                                                                                                       |   |                            |       |           |     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------|-------|-----------|-----|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                                     |   | やってみよう！ピアサポート<br>＜トレーニング編＞ |       | 全会場<br>共通 |     |
| 時                                                                                                                                                                                                     | 間 | 数                          | 担     | 当         | 講 師 |
| 6時間                                                                                                                                                                                                   |   |                            | 栗原 慎二 |           |     |
| 【概要】<br>多くの学校現場と協同し実際に不登校や非行の問題を解決してきた講師が、コミュニケーションや課題解決の方法などの授業の進め方やポイントをたのしく解説します。次期学習指導要領改訂の方向性を踏まえ、“友達同士で支え合い、主体的に課題を解決すること”“自分の所属するコミュニティに寄与すること”そして“思いやりあふれる学校風土の醸成”をねらいとしたピアサポートプログラムについて学びます。 |   |                            |       |           |     |

|                                                                                                                                                                                               |   |            |       |           |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|------------|-------|-----------|-----|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                             |   | 学級経営と保護者対応 |       | 全会場<br>共通 |     |
| 時                                                                                                                                                                                             | 間 | 数          | 担     | 当         | 講 師 |
| 6時間                                                                                                                                                                                           |   |            | 栗原 慎二 |           |     |
| 【概要】<br>児童生徒の基本的欲求である交流の欲求を満たす良質のコミュニケーションの場を学級経営に組み込むことにより、児童生徒相互のソーシャルボンドを構築され、不登校やいじめの未然防止につながるなど、児童生徒に対する支援や学級経営のあり方について実践例を元に解説する。また、保護者の意識分析を元に、保護者の置かれている状況を理解し面談にどう生かすか、面接事例を通じて解説する。 |   |            |       |           |     |

|                                                                                                                                                                                                               |   |   |                                    |   |   |           |  |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|------------------------------------|---|---|-----------|--|--|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                                             |   |   | すべての子どもが学べる教室に<br>一子どものアセスメントとUDLー |   |   | 全会場<br>共通 |  |  |
| 時                                                                                                                                                                                                             | 間 | 数 | 担                                  | 当 | 講 | 師         |  |  |
| 6時間                                                                                                                                                                                                           |   |   | 高橋 あつ子                             |   |   |           |  |  |
| 【概要】<br>障害者差別解消法施行により、合理的配慮の提供は教育現場でも義務となりました。本講座では、「合理的配慮」とは何か、何のためにするのかをわかりやすく解説します。その上で、様々な事例を通して、子どもの成長を支援するために必要な合理的配慮のあり方や教育実践を紹介します。また、基礎的環境整備や子ども理解の方法等も交えた内容を、教職経験があり、現場の実態に即してわかりやすいと定評のある講師が講演します。 |   |   |                                    |   |   |           |  |  |

|                                                                                                                                                                                                                  |   |   |                          |   |   |           |  |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|--------------------------|---|---|-----------|--|--|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                                                |   |   | 様々な課題解決のための<br>組織的対応のあり方 |   |   | 全会場<br>共通 |  |  |
| 時                                                                                                                                                                                                                | 間 | 数 | 担                        | 当 | 講 | 師         |  |  |
| 6時間                                                                                                                                                                                                              |   |   | 栗原 慎二                    |   |   |           |  |  |
| 【概要】<br>今後の「チーム学校」の動きを踏まえ、課題を抱える児童生徒、家庭を支えていくために、様々な立場の専門家が協働し、機能する方策について検討する。また、教職員間での判断や方針の共通理解の在り方や、組織体制づくり、校務分掌の明確化や全校システムの確立、校内研修等について、包括的な観点から解説し、生徒指導の組織・体制の考え方の観点から、問題行動等への対応として有効なチーム支援の進め方を事例をもとに考察する。 |   |   |                          |   |   |           |  |  |

|                                                                                                                                                                                                                  |   |   |                         |   |   |           |  |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-------------------------|---|---|-----------|--|--|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                                                |   |   | 今求められる幼児教育と<br>小学校教育の接続 |   |   | 全会場<br>共通 |  |  |
| 時                                                                                                                                                                                                                | 間 | 数 | 担                       | 当 | 講 | 師         |  |  |
| 6時間                                                                                                                                                                                                              |   |   | 佐藤 博子・栗原 慎二             |   |   |           |  |  |
| 【概要】<br>近年、学校を巡る状況は複雑に変化しており校種間連携及び接続が重要視されています。とりわけ幼児教育と小学校教育の接続は、今求められている大きな課題です。新幼稚園教育要領に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を身につけさせる過程において、愛着や発達に課題を抱えた子どもへの組織的対応について事例を通して理解を深めます。幼小接続の一層の推進と具現化について受講者と一緒に検討し合い、学び合います。 |   |   |                         |   |   |           |  |  |

|                                                                                                                                                                                                                 |   |   |               |   |   |           |  |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---------------|---|---|-----------|--|--|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                                               |   |   | 養護教諭が行うアセスメント |   |   | 全会場<br>共通 |  |  |
| 時                                                                                                                                                                                                               | 間 | 数 | 担             | 当 | 講 | 師         |  |  |
| 6時間                                                                                                                                                                                                             |   |   | 小玉 有子         |   |   |           |  |  |
| 【概要】<br>保健室は身体的不調を訴えれば、誰もが気軽に利用できる場所です。そのため、保健室には、様々な課題を抱えた児童生徒が訪れます。病気やけがばかりではなく、学習や対人不安、家族の問題であったりする場合も少なくありません。養護教諭には、職種の特性や視点を活かしてアセスメントすることが求められます。また、アセスメントの結果を、どのように発信してチーム支援に生かすのか、実践例を参考に、演習を通して研修します。 |   |   |               |   |   |           |  |  |

|                                                                                                                                                                                           |   |   |               |   |   |           |  |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---------------|---|---|-----------|--|--|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                                                         |   |   | 学びのユニバーサルデザイン |   |   | 全会場<br>共通 |  |  |
| 時                                                                                                                                                                                         | 間 | 数 | 担             | 当 | 講 | 師         |  |  |
| 6時間                                                                                                                                                                                       |   |   | 高橋あつ子         |   |   |           |  |  |
| 【概要】<br>「主体的・対話的で深い学び」が求められる今日、学習者自らが自分に合った学び方を選んで学んでいく教室が「学びのユニバーサルデザイン（UDL）」では実現できます。教室には多様な学び方の学習者がいること、一斉指導では学びの障壁が生じることを体験すること等を通じて、アクティブラーニングである多様な学びを提供していく実践の在り方、授業改善の方法を学んでいきます。 |   |   |               |   |   |           |  |  |

|                                                                                                                                                          |   |   |                         |   |   |           |  |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-------------------------|---|---|-----------|--|--|
| 選択必修<br>または<br>選択                                                                                                                                        |   |   | ネットいじめ・<br>SNS問題の現状と対応策 |   |   | 全会場<br>共通 |  |  |
| 時                                                                                                                                                        | 間 | 数 | 担                       | 当 | 講 | 師         |  |  |
| 6時間                                                                                                                                                      |   |   | 金山健一                    |   |   |           |  |  |
| 【概要】<br>近年、複雑化深刻化しているネットやスマホ問題、携帯やLINEトラブル、ネットいじめ等、学校現場で起こっている様々なSNSに関係した生徒指導上の問題に特化した内容を講義します。現状の理解、未然防止策に加え、トラブルが起きてしまった場合の解決のあり方を具体的な事例紹介しながら学んでいきます。 |   |   |                         |   |   |           |  |  |

| 名 前       | 所 属                                                                    |
|-----------|------------------------------------------------------------------------|
| 石井 眞治     | ・ 比治山大学学長                                                              |
| 沖林 洋平     | ・ 山口大学教育学部准教授                                                          |
| 神山 貴弥     | ・ 同志社大学心理学部教授                                                          |
| 小玉 有子     | ・ 弘前医療福祉大学保健学部看護学科教授                                                   |
| 佐藤 博子     | ・ 新潟県立大学非常勤講師<br>・ 一般社団法人ういんぐ代表理事<br>・ 放課後等デイサービスら・ういんぐ児童発達支援<br>管理責任者 |
| 鈴木 建生     | ・ ユマニテク短期大学学長                                                          |
| 高橋 あつ子    | ・ 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻<br>(教職大学院)教授                                  |
| 中井 悠加     | ・ 島根県立大学人間文化学部保育教育学科講師                                                 |
| 山崎 茜      | ・ 広島大学大学院教育学研究科教職開発講座<br>(教職大学院)講師                                     |
| 山田 洋平     | ・ 島根県立大学人間文化学部保育教育学科准教授                                                |
| 米沢 崇      | ・ 広島大学大学院教育学研究科准教授                                                     |
| エリクソン ユキコ | ・ 学校教育開発研究所 理事・カウンセラー<br>・ 広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター<br>客員准教授          |
| 金山 健一     | ・ 神戸親和女子大学大学院文学研究科教授<br>・ 学校教育開発研究所 理事                                 |
| 栗原 慎二     | ・ 広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター<br>教授<br>・ 学校教育開発研究所 代表理事                  |

## 受講にあたって

### 1. 出欠確認について

①本登録後に送付する受講案内に記載されている受付にお越しいただき、受付をお済ませください。

②本講習の受講および修了認定試験時には本人確認の必要があります。

受講の際には**受講料の領収書**もしくは**本人確認できる書類**（運転免許証など顔写真付きのもの）を持参し、受付にご提示ください(eラーニング講習の場合、**受験票**も必要です)。

### 2. 遅刻・欠席等について

#### ①原則として、遅刻・欠席は認められません。

※遅刻は台風等の天候上の理由、公の交通機関の遅延等の正当な理由がなければ認められません。

ただし、その場合でも、30分以上の遅刻、あるいは早退された場合には、欠席とみなし、修了認定試験が受けられなくなる可能性があります。

※講習の一部あるいは全部を欠席された場合は、修了認定試験が受けられません。

②修了認定試験を事前連絡等がなく、欠席した場合は、理由の如何に関わらず追試をはじめとする代替措置は行いません。

## 受講上の注意

1. 受講については、申込者本人のみとなっております。代理受講はできません。
2. 事務局等でのコピーサービスは行っておりません。
3. 受講中の録音・録画および写真撮影は原則禁止です。
4. 貴重品は各自の責任において管理してください。万が一盗難その他の事故がありましても、本法人は責任を負いかねます。
5. 教室内はエアコンがつかますので、温度調節ができる服装でお越しください。
6. 昼食は各自でご用意ください。
7. 一部の講習では、講習開始後に係の者が出欠状況の確認に入室することがあります。
8. 会場には駐車場がございませんので、原則公共交通機関をご利用ください。

※その他気になることがあれば、事務局までお問い合わせください。

## 障がいをお持ちの方の受講について

障がいをお持ちの方の受講については、個別にご相談に応じます。  
申し込みの際、事務局にご連絡いただきますようお願いいたします。

■公益社団法人 学校教育開発研究所(AISES)  
広島事務局

〒730-0016 広島県広島市中区鞆町3番1号 山県ビル6F

TEL : 082-211-1030

E-mail : admin@aises.info

(営業時間：月～金 10:00～17:00)

※土曜・日曜・祝日もWebによるお申込みやメールによる問い合わせはできますが、手続き・回答は、営業時間にさせていただきます。

## 講習の中止等について

気象状況（台風や大雨等）や交通機関のストライキ等により、やむを得ず講習を中止する場合は、本法人ホームページにてお知らせいたします。

また、講習の実施が危ぶまれる可能性が出てきた段階で、本法人のホームページにて講習実施についての情報を掲載します。

## 個人情報保護について

本法人は、個人情報の取り扱いを定めた法令等を遵守し、皆さまから取得した個人情報については、以下の目的に則して利用するとともに、個人情報の適正な保護に努めます。

〈利用目的〉 ①各種講習関連書類等の送付物発送 ②受講料納入 ③講習運営 ④各種統計・調査  
⑤入会案内 等

※ 上記目的に定める業務を遂行するにあたり、外部業者に対して業務委託し、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、委託業者への個人情報の提供を行う場合は、法令に則った安全管理措置を講じ、必要かつ適切な監督を行います。

※個人情報保護の観点から、講師や他の受講生の連絡先等のお問い合わせにはお応えできませんので、ご了承ください。

## 【重要】新型コロナウイルス問題に伴う教員免許状更新講習の開講について

新型コロナウイルス感染症については、指定感染症として閣議決定されたほか、既に連日の報道のとおり、国内においても感染が広まりつつあります。

今後社会情勢の変化、および公官庁の指示により、ご案内内容が変更となる場合がございますので、講座開講に関することについては、定期的に学校教育開発研究所ホームページをご確認ください。

また教員免許状更新制に関することは、文部科学省や各都道府県教育委員会のホームページをご確認ください。

その他、受講生の皆様へ

受講会場や修了試験会場に、ご来場の際には手洗い・うがいの徹底など、感染防止へのご協力をお願い申し上げます。



# Q&A

Q1. 電話やFAXでの申し込みはできますか？

A1. できません。全講習インターネットからの申し込みのみとなっております。インターネットで申し込み後、別途、提出期限までに本研究所様式の受講対象者証明書を郵送していただきます。インターネットの申し込みと受講対象者証明書の提出の両方が揃って、受付完了となります。どちらか片方だけでは、受付完了になりません。

Q2. パソコンやプリンターを持っていません。どうしたらいいですか？

A2. 申し込みにはパソコンとプリンターが必要です。インターネット環境のあるパソコンからお申し込みをお願いします。原則事務局にて、代わりにプリンター出力は行いません。

Q3. スマートフォンやタブレット、携帯電話から申し込みはできますか？

A3. 確実性が損なわれるため、なるべくパソコンからお申し込みいただくことを推奨いたします。スマートフォンやタブレットの操作によって、手続きがうまくいかなかった場合、本研究所では責任は負いかねます。

Q4. 学校教育開発研究所の講習を受講するだけで教員免許状の更新が可能ですか。

A4. 学校教育開発研究所では、免許状の更新に必要な30時間の講習を開設しています。したがって、当研究所の講習を受講し、必修領域1科目、選択必修領域1科目、選択領域3科目以上を含む5科目以上の試験に合格した場合、教員免許状を更新することができます。また、他大学等の講習と組み合わせて必要な内容だけを受講することも可能です。  
受講修了後、各自で各都道府県教育委員会（免許管理者）に更新講習修了確認の申請を行ってください。

Q5. 学校教育開発研究所の講習は学校種や教科による制限がありますか。特別支援学校教諭免許状、養護教諭免許状も更新できますか。

A5. 栄養教諭を除き、いずれの免許状も、学校教育開発研究所で更新に必要な30時間全ての受講が可能です。  
学校教育開発研究所の選択領域の科目は栄養教諭免許状に対応しておりませんので、栄養教諭の方は更新に必要な30時間を学校教育開発研究所だけで受講することはできません。

Q6. 免許状更新講習をいつ受ければよいのか教えてください。

A6. 各個人の講習を受講すべき期間は、生年月日・所持している免許状の授与日・修了確認期限の延期等、個人の事情によって異なります。したがって、学校教育開発研究所にお問い合わせいただいても責任をもった回答はできません。教育委員会や勤務先の学校等にお問い合わせいただくか、文部科学省ホームページ：修了確認期限のチェックを参照してください。

Q7. 学校教育開発研究所の講習は職務専念義務免除になりますか。

A7. 職務専念義務免除にあたるかどうかは学校教育開発研究所で判断することはできません。勤務校、教育委員会等の服務監督権者の判断となりますので、それぞれにお問い合わせください。

Q8. 仮申し込みの情報を全て入力したのですが、「完了・送信」ボタンが押せません。どうしたらいいですか？

A8. 何回も試みて「完了・送信」ができない場合は、お問い合わせください。  
※原因を追究するため、入力したデータと画面をスクリーンショットしておいてください。

Q9. 仮申し込みをしたのに、メールが届きません。

A9. 迷惑メールフォルダにメールが届いていないか確認をお願いいたします。メールソフトによりましては、迷惑メールと判断され、迷惑フォルダに振り分けられる、もしくは、受信出来ない場合がございます。  
必ず学校教育開発研究所から送信されるメール (@以降が@aises.info) を受信できるよう設定をお願いします。しばらく経っても届かない場合は、お問い合わせフォームよりご連絡ください(admin@aises.info)。

※携帯電話のメールアドレスをご登録される方へ

お使いの携帯電話で、迷惑メール対策の設定や、ドメイン指定受信の設定をされている場合は、解除いただくか、下記のメールアドレスを受け取れるよう、ドメイン指定受信の追加登録をお願いします。

**【admin@aises.info】**

※2009年3月以前に作成されたメールアドレスをお使いの方へ

RFC違反メールアドレスの可能性があります。RFC違反メールアドレスとは、RFCで定められている仕様・要件に準拠しないアドレスのことを指します。RFC違反メールアドレスは、当研究所の申し込みには使用できません。

◎RFC違反メールアドレス

【ケース1】 アットマーク (@) の直前やメールアドレスの先頭にピリオド (.) がある

例1) .abcd@example.co.jp

例2) abcd.@example.co.jp

【ケース2】 アットマーク (@) より前で、ピリオド (.) が連続している。

例1) abcd..example.co.jp

例2) ab..cd@example.co.jp

【ケース3】 半角英数字と一部の記号※以外の文字列を含んでいる

※一部の記号 ( . ! # \$ % & ' \* + - / = ? ^ \_ { | } ~ )

例1) ab[cd@example.co.jp

例2) ab@cd@example.co.jp

Q10. WEB仮申し込みにて、登録内容を間違えました。どうすればいいですか？

A10. お問い合わせフォームからご連絡ください。  
本文に整理番号・氏名、新しく変更する情報（住所・メールアドレス等）」を明記してください。

※受講対象者証明書には変更後の情報を記入し、AISESまで送付してください。

Q11. 婚姻等により、免許状が発行された時と名前が変わりました。どうすればいいですか？

A11. まずは各自で各都道府県教育委員会にお問い合わせいただき、その上で変更が必要な場合は、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

Q12. 講習科目の追加・変更はできますか。

A12. お問い合わせフォームよりご連絡ください。整理番号、氏名、変更する情報を明記してください。※受講対象者証明書には変更後の情報を記入し、AISESまで送付してください。

Q13. インターネット申込みを行いました。が、辞退することはできますか。

A13. 辞退する場合は、お申込みいただいた全科目の辞退となります。

お問い合わせフォームよりご連絡ください。整理番号、氏名、辞退するすべての講座名・会場・受講日（eラーニング式講習の場合は、試験日・試験会場名）、を明記してご連絡ください。2,000円の事務手数料を除いた金額を返金いたします。

Q14. 整理番号ってなんですか？

A14. 仮登録をした際に届く自動返信メールについている4ケタの番号です。免許更新講習に関して、AISESにお問い合わせをする際には必ず必要となりますので、番号を控えておいてください。

Q15. 受講対象者証明書とは何ですか。

A15. 申込者が受講対象者であることを証明するための書類です。学校教育開発研究所所定の書式により、申込者全員に提出していただく必要があります。期日までに提出が無い場合は、申込受付が完了せず、学校教育開発研究所から講習料払込取扱票を郵送することができません。

※インターネットでお申込みの前に、勤務校か各都道府県教育委員会にご確認ください。

Q16. 受講対象者証明書は、どこで入手すればよいのですか。

A16. 教員免許更新講習案内ページの受講対象者証明書（PDF形式）から、各自で印刷してください。

Q17. 受講対象者証明書の証明は、どこで受ければよいのですか。

A17. 現職の教員の方は、勤務する学校（園）の長から証明を受けてください。また、勤務経験者として受講される場合は、勤務していた学校の所在する教育委員会または前勤務校から証明を受けてください。

採用内定者・任用予定者として受講される場合は、採用・任用する教育委員会または学校から証明を受けてください。詳しくは、各都道府県教育委員会や勤務予定地にお問い合わせください。

Q18. 講習料はいくらですか。

A18. 1科目あたり、6,500円(対面式講習) 6,000円(e-ラーニング式講習)です。  
学校教育開発研究所で更新に必要な30時間分を受講される場合は、必修領域の6,500円と選択必修領域の6,500円（1科目）と選択領域の6,500×3科目＝19,500円を合計した32,500円が必要です(対面式講習の場合)。

Q19. 講習料は、いつまでにどのようにして払えばよいのですか。

A19. 学校教育開発研究所から郵送する講習料払込取扱票により、銀行、信用金庫等金融機（ATM不可）、郵便局、コンビニエンスストアから払込期限までに振り込んでください。  
※ネットバンキング(NB)は使わないでください。必ず振込票を使用してください。

# 公益社団法人 学校教育開発研究所(AISES) 広島事務局

〒730-0016 広島県広島市中区鞆町3番1号 第3山県ビル6F

TEL : 082-211-1030

E-mail : admin@aises.info

(営業時間：月～金 10:00～17:00)

※土曜・日曜・祝日でもWebによるお申込みやメールによる問い合わせはできますが、  
手続き・回答は、営業時間にさせていただきます。

<https://aises.info/>